

時を旅する 愛知の飯田街道

まちあるきマップ



愛知県街道観光
推進協議会

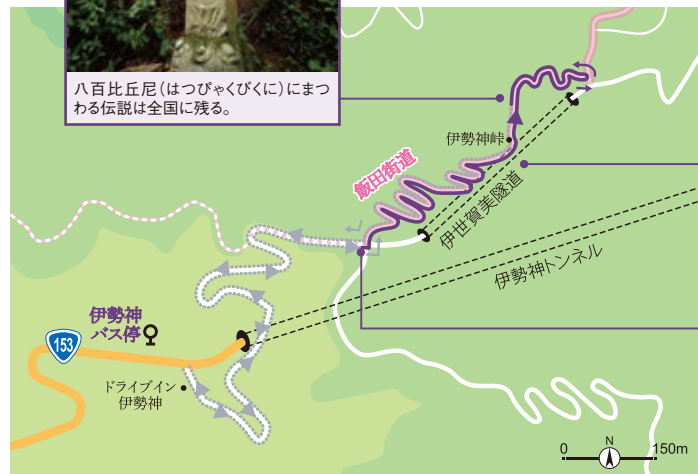
「時を旅する
愛知の街道」
ガイドブック
も併せてご覧ください。



3 八百比丘尼の杉



八百比丘尼(はつびやくに)にまつわる伝説は全国に残る。



2 伊勢神宮拝所



伊勢神宮を遠かに望む場所に立つ。

1 案内板



「中馬の難所 伊勢神峠」の案内板。

足助と稲武を結ぶ伊勢神峠。元は「石神峠」「石亀峠」だったが、伊勢神宮の拝所が設けられた「伊勢神峠」に改められた。現在の主要道は昭和35年(1960)竣工の伊勢神トンネルだが、その真上に明治30年(1897)に造られた石造りの伊世賀美隧道、さらにその上に中馬の人馬や善光寺、伊勢参りの旅人が歩いた峠道も残され、「街道の変遷を知る交通博物館」とも称される。
*2012年から伊勢神トンネル改良事業(新トンネル)の調査が開始されている。

豊田市 伊勢神峠

江戸、明治、昭和
三代にわたる峠道の変遷

- 1 案内板 徒歩20分
- 2 伊勢神宮拝所 徒歩5分
- 3 八百比丘尼の杉 徒歩35分

所要時間 約1時間20分
距離 約3.5km

Information
■ 豊田市足助観光協会 ☎0565-62-1272 ■ 豊田市足助町宮平34-1
○「伊勢神峠」にはトイレがありません。また季節によっては畜獣、害虫対策を考慮してください。



山中の旧道

豊田市 夏焼

今も昔も道行く人々を
なつのお地蔵さん



4 地蔵峠登り降り口



地蔵峠は、明治時代の改修工事で7m程掘り下げられたという。国道153号の道路際に登り降り口がある。

- 1 イノシシ除けの柵 徒歩1分
- 2 道案内板 徒歩2分
- 3 地蔵峠 地蔵馬頭観音 徒歩20分
- 4 地蔵峠登り降り口 徒歩2分

所要時間 約48分 距離 約2.2km~2.5km

- 1 イノシシ除けの柵 徒歩5分
- 2 道案内板 徒歩20分
- 3 地蔵峠 地蔵馬頭観音 徒歩20分
- 4 地蔵峠登り降り口 徒歩2分

柵の扉は自分で開けて入る。必ず閉めること。

山中の道には所々に案内板が立つ。

国道を走る車を見守る。

Information
■ いなぶ観光協会 ☎0565-83-3200 ■ 豊田市武節町針原4-1
○「夏焼城ヶ山」飯田街道ルートにはトイレがありません。また季節によっては畜獣、害虫対策を考慮してください。



小坂の地藏堂

1 西蓮寺、含笑寺



西蓮寺、含笑寺、法華寺など「東寺町」の多くの寺院は清須越で移転してきた。

4 川原神社



弁財天も祀られていることから「川名の弁天様」として親しまれてきた。

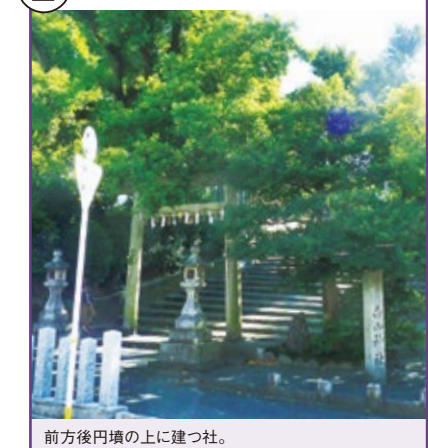
5 香積院



総門と山門(丸門ともいわれる)は江戸時代に建立された当時のものといわれる。



2 白山神社



前方後円墳の上に建つ社。

3 車田町の三体の石仏



大正のころ八事路傍に放置された石仏を信心深い人が見かねて安置したという。



- 1 西蓮寺、含笑寺 徒歩10分
- 2 白山神社 徒歩18分
- 3 車田町の三体の石仏 徒歩24分
- 4 川原神社 徒歩30分
- 5 香積院 徒歩8分

Information
■ 名古屋観光コンベンションビューロー ☎052-202-1143

所要時間 約1時間52分
距離 約6.8km

飯田街道 東桜く枳中

今なお街中を斜めに貫く街道の面影

名古屋市内地下鉄久屋大通駅3B番出口から南に向かう。1本目の道が旧街道。街中を南東へ斜行しているのわかりやすい。国道41号線を渡ると「東寺町」。ピルの谷間に寺院が立ち並び、新栄三丁目交差点の南にある白山神社は古墳の上に建つ社。若宮大通を渡ると道幅が狭くなるが道筋に石仏や地藏堂がある。道は川名公園内を貫き、枳中・八事に至る。

家康が開いた名古屋と岡崎を結んだ道



稲武の町並み



1 尹良親王腰掛け石



南朝方の皇子・尹良親王の史跡のひとつ。親王の伝説は奥三河から南信州に点在。

2 大和屋



武節の町で材木商の傍ら塩問屋を営んでいた。

3 戦国時代から現存する道



戦国時代から残る古道。名倉川を渡る手前に関所が設けられていた。

4 瑞龍寺



推定400年弱の枝重桜の名所。

5 寛政9年の道標



国道153号と257号線の交差点に立ち、風来寺道と善光寺道（＝飯田街道）を示す。

8 道の駅 どんぐりの里いなぶ



稲武の物産を販売する。温泉施設や体験工房も隣接。

7 武節城址



長篠の戦いに敗れた武田勝頼がもてなを受けた。

6 大井平公園



古橋家が造成した公園で城ヶ山の登山口の一つでもある。

豊田市

尹良親王や戦国武将の足跡を辿るコース

飯田街道

稲武

南朝の皇子や武田家ゆかりの道は信州へ

Information

いなぶ観光協会 ☎0565-83-3200
 豊田市武節町針原4-1

おいでバス 御所貝津 徒歩1分

道の駅 どんぐりの里いなぶ 徒歩5分

武節城址 徒歩20分

大井平公園 徒歩10分

寛政9年の道標 徒歩2分

瑞龍寺 徒歩5分

戦国時代から現存する道 徒歩5分

大和屋 徒歩16分

尹良親王腰掛け石 徒歩4分

所要時間 約1時間 8分

距離 約4.2km



マンリン小路

2 宗恩寺



町並みを一望する高台に立つ。鐘の音の美しさでも知られる寺。

3 足助中馬館



稲橋銀行足助支店社屋を利用した資料館。県指定文化財。

1 馬頭観音と牛馬撰待水



馬頭観音坐像下には街道を往來した馬のための水飲み場がある。



足助中馬館

9:00~17:00 無料
 木曜日(11月および祝日は閉館)、年末年始(12/28~1/4)
 〒444-2424 豊田市足助町針原11
 ☎なし 足助中馬館 ☎0565-62-0878

街道資料館をたずねる

8 香積寺



江戸時代の三栄和尚が香嵐渓紅葉の生みの親と伝わる。

7 城跡公園 足助城



戦国時代の山城の景観を、発掘調査に基づき、できる限り復元を行っている。

Information

豊田市足助観光協会 ☎0565-62-1272
 豊田市足助町宮平34-1

【三州足助ボランティアガイドの会】
 ☎0565-62-1272 (足助観光協会内) ※要予約・無料 (案内の中の入館料等については、実費を負担)

おいでバス 香嵐渓 徒歩23分

香積寺 徒歩23分

城跡公園 足助城 徒歩32分

尹良親王 袈裟かけ石 徒歩34分

百年草 徒歩13分

大給松平家 先祖の墓 徒歩5分

足助中馬館 徒歩19分

宗恩寺 徒歩8分

馬頭観音と牛馬撰待水 徒歩13分

所要時間 約2時間 42分

距離 約8.7km

豊田市

商人の心を伝える古い町並みを歩くコース

飯田街道

足助

足助は戦国時代、足助城山麓の集落を形成し、江戸時代に入ると宿場の要素に加え、塩問屋を中心に商業の町として発展した。太平洋岸と山岳地帯を結ぶ交易の要路となった街道沿いには、今なお白壁の土蔵や重厚な造りの町家が軒を連ね、往時をしのばせる。南北朝時代の尹良親王ゆかりの史跡や紅葉で名高い香嵐渓など見どころの多いコース。

1 八事山興正寺



愛知県下唯一の木造五重塔は、国の重文指定。興正寺は、街道の峠道を守る「藝」の役割を担っていた。

3 植田八幡宮・馬頭観音



(右)八幡宮境内には、前方後円式古墳の一部が残る。(左)八幡宮門前の真向側に馬頭観音がある。

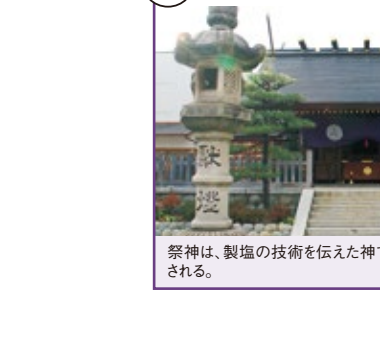
6 秋葉山慈眼寺



信長が桶狭間の戦いに、戦勝祈願をしたと伝わる。



2 塩竈神社



祭神は、製塩の技術を伝えた神であり、現在は安産の守護神とされる。

4 原の道標



石仏を彫った道標。飯田街道と、熱田(宮)・伊勢に続く街道の分岐点にある。

5 秀伝寺



家康が、平針宿を設ける際に、再興を命じた。山門は、太平洋戦争の空襲を免れたもの。

Information

名古屋観光 コンベンションビューロー ☎052-202-1143

おいでバス 足助大橋 徒歩15分

馬頭観音と牛馬撰待水 徒歩13分

宗恩寺 徒歩8分

足助中馬館 徒歩19分

大給松平家 先祖の墓 徒歩5分

百年草 徒歩13分

尹良親王 袈裟かけ石 徒歩34分

城跡公園 足助城 徒歩32分

香積寺 徒歩23分

おいでバス 香嵐渓 徒歩23分

秋葉山慈眼寺 徒歩23分

秀伝寺 徒歩10分

原の道標 徒歩17分

馬頭観音 徒歩24分

植田八幡宮 徒歩20分

塩竈神社 徒歩27分

八事山興正寺 徒歩15分

地下鉄舞鶴線 いりなかが駅 徒歩5分

所要時間 約2時間 16分

距離 約8.2km

名古屋

八事山から家康ゆかりの平針宿をたどるコース

飯田街道

八事〜平針

中馬が往來した交易の道と商家町

江戸時代は、城下を出て最初の山道が八事山だった。五重塔がそびえる興正寺から、今はビルや住宅地の間を通る旧道を東へ歩く。風景は違うが、勾配は山道を感じさせる。途中、街道から外れ案内板に従い塩竈神社へ。急坂道を下り国道153号線に戻る。植田川を渡り、家康が設置させた平針の旧宿場へ。わずかに残る古い家屋が歴史を感じさせる。

